

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 23 日 (2007.8.23)

【公表番号】特表 2007-503569 (P2007-503569A)
 【公表日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-007
 【出願番号】特願 2006-524728 (P2006-524728)
 【国際特許分類】

F 2 3 Q 2/28 (2006.01)

【F I】

F 2 3 Q 2/28 1 2 1 D

F 2 3 Q 2/28 1 2 3 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 5 日 (2007.7.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

燃料の供給部を備えたハウジングと、
 燃料を着火させるときの少なくとも 1 つの段階を選択的に遂行するために前記ハウジングに移動可能に連結された作動部材と、
 前記作動部材を高力モードから低力モードを選択的に切替えるために前記ハウジングに摺動可能に連結されたラッチ部材とを有し、
 前記作動部材は、高力モード及び低力モードにあるとき、燃料を着火させる前記少なくとも 1 つの段階を遂行するように作動可能であるライター。

【請求項 2】

前記作動部材は、燃料を着火させる前記少なくとも 1 つの段階を遂行するために、第 1 方向に移動可能であり、前記ラッチ部材は、前記作動部材を高力モードから低力モードに選択的に切替えるために、第 2 方向に摺動可能である、請求項 1 に記載のライター。

【請求項 3】

前記第 1 方向は、前記第 2 方向と実質的に同じである、請求項 2 に記載のライター。

【請求項 4】

前記作動部材は、第 1 経路に沿って移動可能であり、前記ラッチ部材は、第 2 経路に沿って摺動可能である、請求項 1 に記載のライター。

【請求項 5】

前記第 1 経路は、前記第 2 経路と実質的に平行である、請求項 4 に記載のライター。

【請求項 6】

前記第 1 経路は、前記第 2 経路に対して横方向に延びる、請求項 4 に記載のライター。

【請求項 7】

更に、カムフォロワを更に有し、

前記ラッチ部材は、前記作動部材を高力モードから低力モードに切替えるために、前記カムフォロワと相互作用するカム面を有する、請求項 1 に記載のライター。

【請求項 8】

更に、プランジャ部材を有し、前記プランジャ部材は、前記作動部材が高力モードにあるときの第 1 位置と、前記作動部材が低力モードにあるときの第 2 位置との間を移動可能

であり、前記カムフォロワは、前記プランジャ部材を前記第 1 位置から前記第 2 位置に移動させる、請求項 7 に記載のライター。

【請求項 9】

前記プランジャ部材は、通常、前記第 1 位置に配置され、前記ラッチ部材は、通常、初期位置に配置され、前記ラッチ部材を前記初期位置から所定距離だけ摺動させることにより、前記カムフォロワは、前記プランジャ部材を前記第 2 位置に移動させる、請求項 8 に記載のライター。

【請求項 10】

前記ラッチ部材を摺動させる前に前記作動部材を所定距離だけ移動させることにより、前記作動部材を高力モードから低力モードに切替えるのに十分な距離だけ前記ラッチ部材を移動させることを実質的に防止する、請求項 1 に記載のライター。

【請求項 11】

燃料の供給部を備えたハウジングと、

燃料を着火させる少なくとも 1 つの段階を選択的に遂行するために前記ハウジングに連結され且つ第 1 経路に沿って第 1 方向に移動可能な作動部材と、

前記ハウジングに連結されたラッチ部材と、を有し、前記ラッチ部材は、前記作動部材が高力モードにある第 1 位置から前記作動部材が低力モードにある第 2 位置まで第 2 経路に沿って第 2 方向に移動可能であり、

前記第 1 経路は、前記第 2 経路と実質的に平行である、ライター。

【請求項 12】

前記第 1 方向は、前記第 2 方向と実質的に異なる、請求項 2 又は 11 に記載のライター

。

【請求項 13】

前記第 1 方向は、前記第 2 方向と実質的に逆である、請求項 2 又は 11 に記載のライター。

【請求項 14】

前記第 1 経路及び前記第 2 経路の少なくとも一方は、実質的に線形である、請求項 4 又は 11 に記載のライター。

【請求項 15】

前記第 1 経路及び前記第 2 経路の前記少なくとも一方は、湾曲し又は弧状である、請求項 4 又は 11 に記載のライター。

【請求項 16】

前記第 1 経路及び前記第 2 経路の少なくとも一方は、傾斜し又は多軸である、請求項 4 又は 11 に記載のライター。

【請求項 17】

前記作動部材が高力モードにあるとき、燃料を着火させる前記少なくとも 1 つの段階を遂行するために、前記作動部材を移動させる第 1 作動力が必要とされ、

前記作動部材が低力モードにあるとき、燃料を着火させる前記少なくとも 1 つの段階を遂行するために、前記作動部材を移動させる第 2 作動力が必要とされ、

前記第 1 作動力は、前記第 2 作動力よりも大きい、請求項 1 又は 11 に記載のライター

。

【請求項 18】

前記第 1 作動力は、約 10 kg よりも小さい、請求項 17 に記載のライター。

【請求項 19】

前記ラッチ部材は、前記ハウジングに対して摺動可能である、請求項 11 に記載のライター。

【請求項 20】

前記ラッチ部材は、前記ハウジングの表面に沿って摺動可能である、請求項 1 又は 19 に記載のライター。

【請求項 21】

更に、前記ラッチ部材と相互作用するカムフォロワを有する、請求項 11 に記載のライター。

【請求項 22】

前記カムフォロワは、前記ハウジングに枢動可能に結合される、請求項 7 又は 19 に記載のライター。

【請求項 23】

更に、前記作動部材が高力モードにあるときの第 1 位置と前記作動部材が低力モードにあるときの第 2 位置との間を移動可能なプランジャ部材を有し、前記カムフォロワは、前記プランジャ部材を前記第 1 位置から前記第 2 位置に移動させる、請求項 7 又は 19 に記載のライター。

【請求項 24】

前記ラッチ部材を摺動させる前に前記作動部材を所定距離だけ移動させることにより、前記ラッチ部材を摺動させるのに必要な力の大きさを増大させる、請求項 1 又は 11 に記載のライター。

【請求項 25】

更に、前記ラッチ部材に関連した第 1 係合面と、前記作動部材に関連した第 2 係合面と、を有し、前記ラッチ部材を摺動させる前に前記作動部材を所定距離だけ移動させると、前記第 1 係合面が前記第 2 係合面と係合する、請求項 24 に記載のライター。

【請求項 26】

更に、プランジャ部材を有し、前記第 1 係合面は、前記プランジャ部材に形成され、前記第 2 係合面は、前記作動部材に形成され、前記第 1 係合面及び前記第 2 係合面は、傾斜する、請求項 25 に記載のライター。

【請求項 27】

前記ラッチ部材を移動させる前に前記作動部材を所定距離だけ移動させることにより、前記作動部材を高力モードから低力モードに切替えるのに十分な距離だけ前記ラッチ部材を移動させることを実質的に防止する、請求項 1 又は 11 に記載のライター。

【請求項 28】

更に、前記ラッチ部材に関連した第 1 係合面と、前記作動部材に関連した第 2 係合面と、を有し、前記ラッチ部材を摺動させる前に前記作動部材を所定距離だけ移動させると、前記第 1 係合面が前記第 2 係合面に係合する、請求項 24 又は 27 に記載のライター。

【請求項 29】

更に、プランジャ部材を有し、前記第 1 係合面は、前記プランジャ部材に形成され、前記第 2 係合面は、前記作動部材に形成され、前記第 1 係合面及び前記第 2 係合面は、実質的に水平である、請求項 28 に記載のライター。

【請求項 30】

更に、プランジャ部材を有し、前記第 1 係合面は、前記プランジャ部材に形成され、前記第 2 係合面は、前記作動部材に形成され、前記第 1 係合面及び前記第 2 係合面は、実質的に垂直である、請求項 29 に記載のライター。

【請求項 31】

前記燃料を着火させる前記少なくとも 1 つの段階は、燃料を放出させる段階又はスパークを発生させる段階である、請求項 1 又は 11 に記載のライター。

【請求項 32】

前記作動部材は、選択的に燃料を放出させ且つスパークを発生させる、請求項 1 又は 11 に記載のライター。

【請求項 33】

更に、前記ハウジングから延びるワンドを有する、請求項 1 又は 11 に記載のライター。

【請求項 34】

前記ワンドは、ハウジングに対して枢動可能である、請求項 33 に記載のライター。

【請求項 35】

前記作動部材は、使用者の人差し指で操作できるように構成され、前記ラッチ部材は、使用者の親指で操作できるように構成される、請求項 1 又は 1 1 に記載のライター。